

きりしま あいら

国道10号(霧島～始良)渋滞対策検討会

説明資料

令和4年8月30日

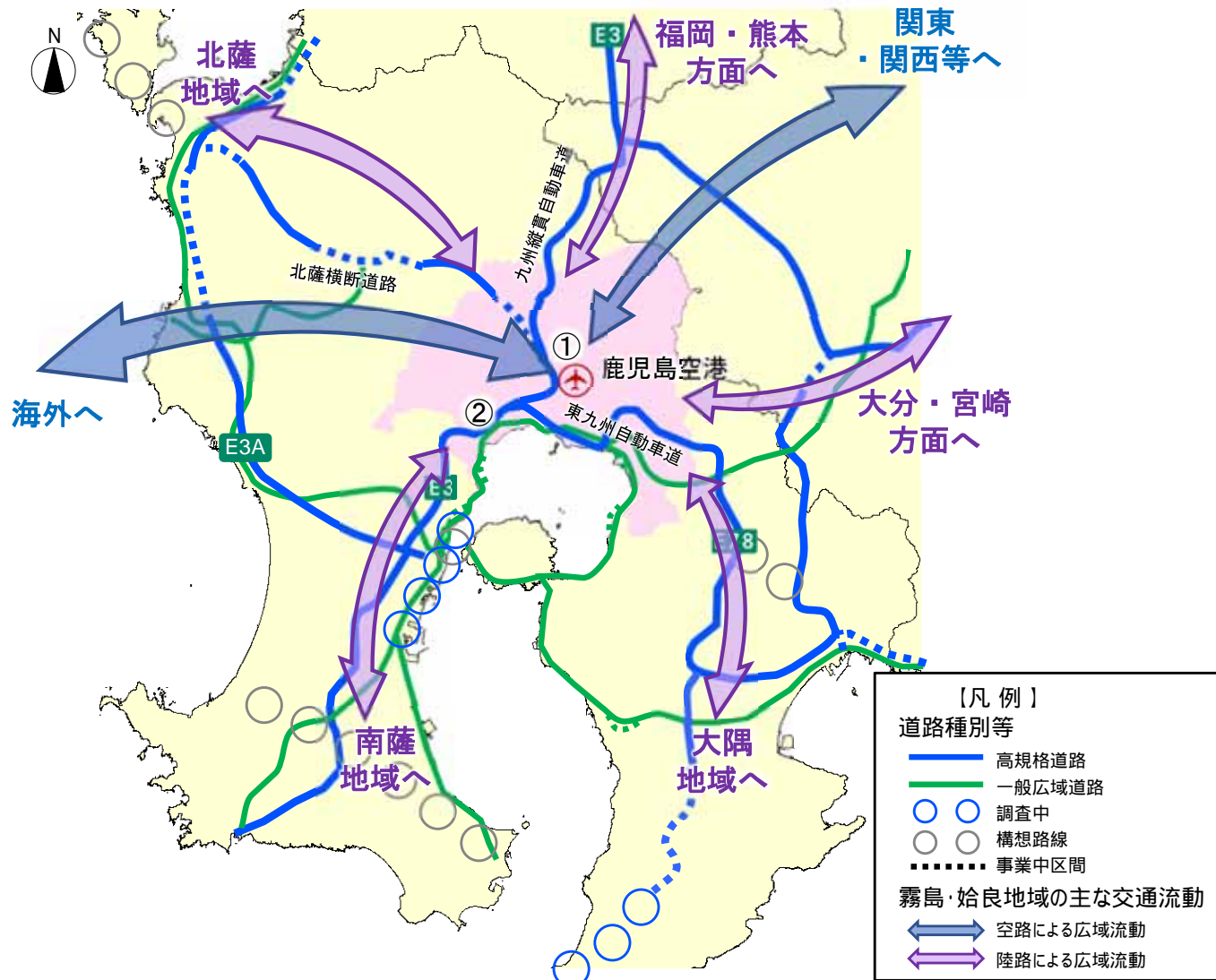
目 次

- | | | |
|---------------|-------|-------|
| 1. 霧島・始良地域の現状 | | P. 2 |
| 2. 地域ポテンシャル | | P. 6 |
| 3. 霧島・始良地域の課題 | | P. 13 |
| 4. とりまとめ | | P. 18 |

1. 霧島・始良地域の現状【対象地域のネットワークの現状】

○ 霧島・始良地域は鹿児島県の中央部に位置し、国内外の玄関口である鹿児島空港と県内外を結ぶ九州縦貫自動車道、東九州自動車道等の高速ネットワークが結節する交通の要衝となっている。

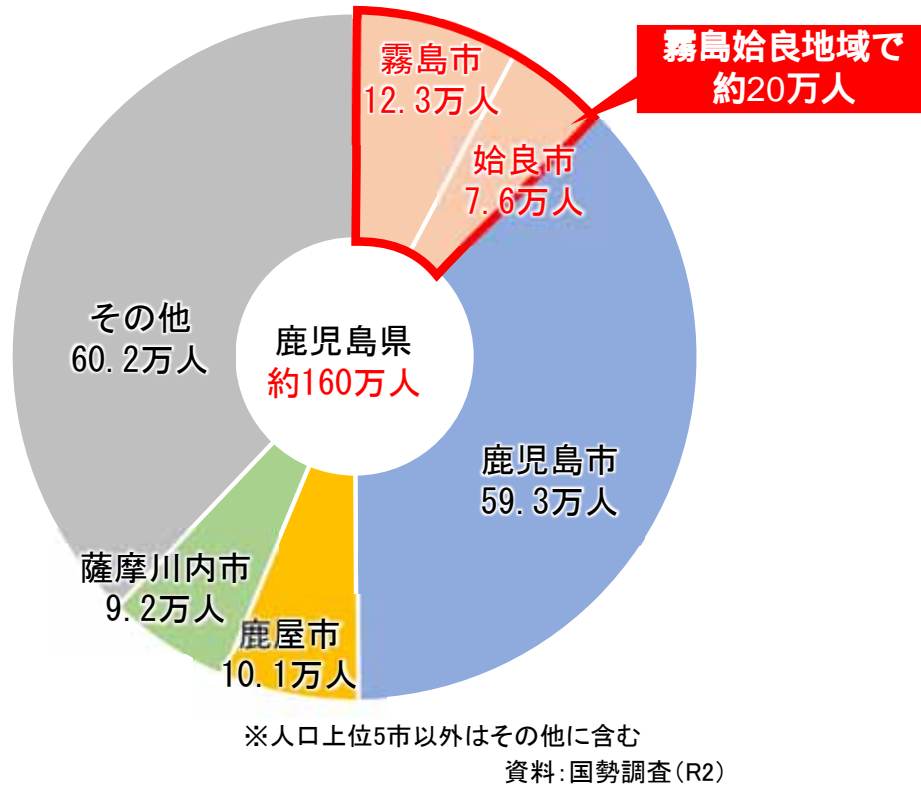
【鹿児島県内の高速ネットワーク】



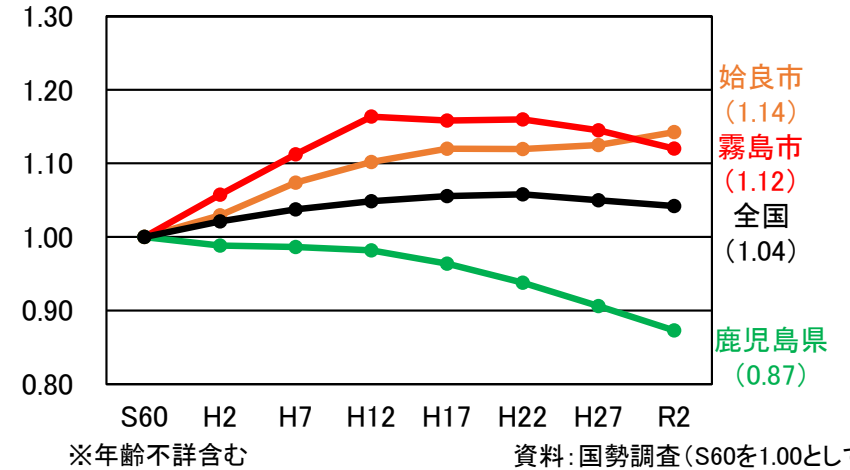
1. 霧島・始良地域の現状【人口】

- 霧島・始良地域では約20万人が居住している。
- 県全体では人口の減少がみられるが、霧島・始良地域では全国平均より伸び率が高くなっている。
- 霧島・始良地域内では、中心部は増加傾向にある一方で郊外部では減少が顕著。

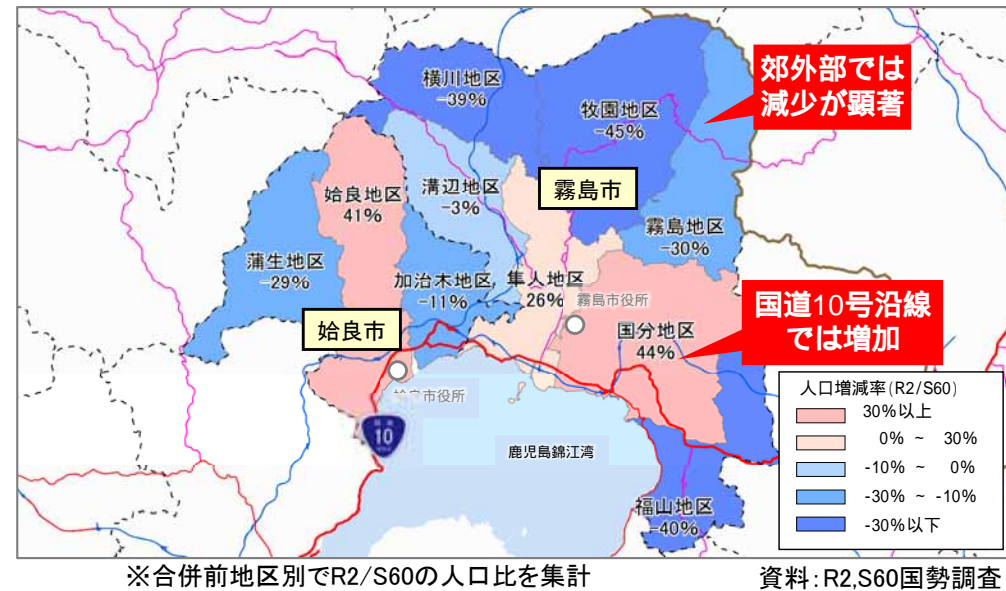
■ 鹿児島県内の人口 (R2)



■ 人口の伸び率 (S60~R2)



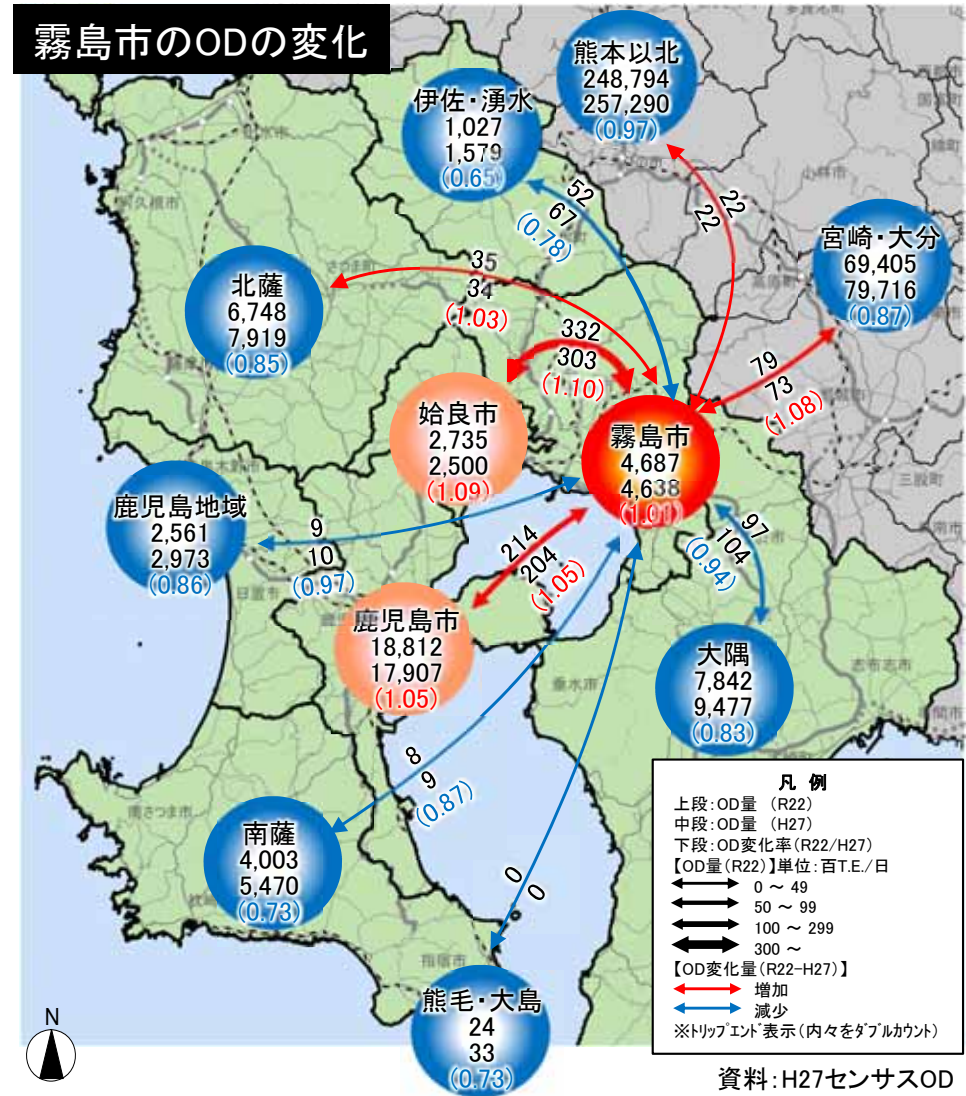
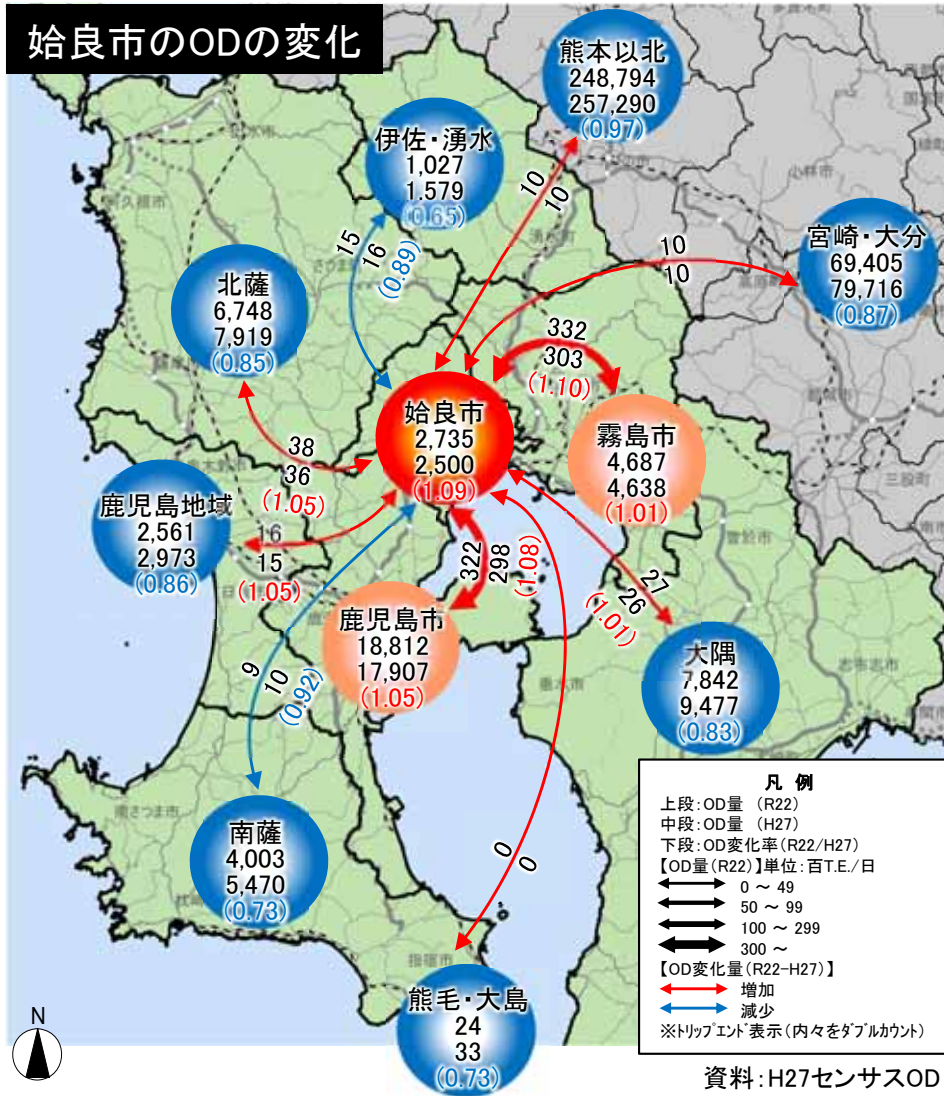
■ 霧島・始良地域の地区別人口の増減率 (R2/S60)



1. 霧島・始良地域の現状【交通流動】

- 霧島・始良地域は両市間および鹿児島市との交通流動が多い。
- また、将来の交通流動も増加見込みであり、特に始良市・霧島市間の交通流動は約1割増加する見込み。

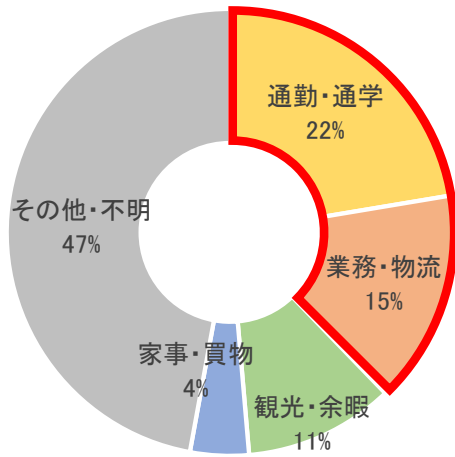
■ 霧島市・始良市と周辺市町村間交通流動



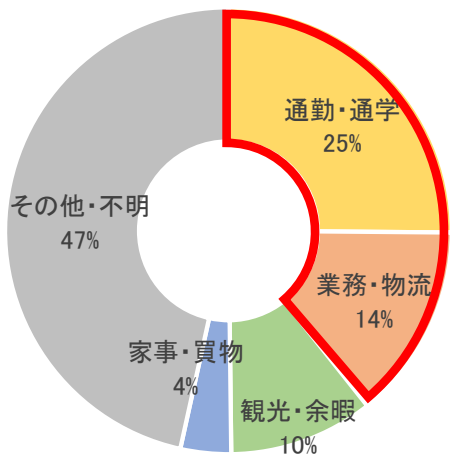
1. 霧島・始良地域の現状【交通特性】

- 霧島・始良地域における両市間および鹿児島市との地域間交通の目的はいずれも約4割が通勤・通学や業務関連である。
- 通勤通学時の交通手段は、自動車利用率が最も高く、全国・県内平均と比較しても、自動車への依存度が高い。

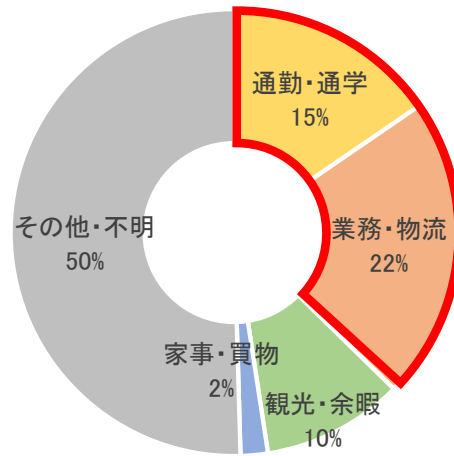
■ 地域間交通の目的



▲ 始良市⇄霧島市(303百台)



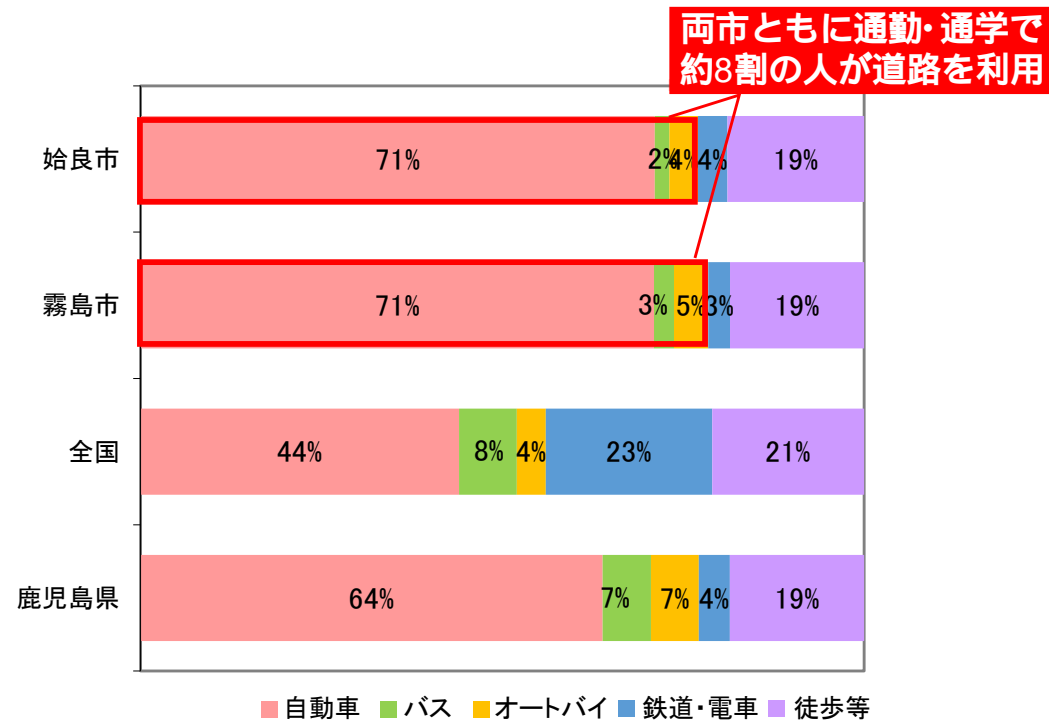
▲ 始良市⇄鹿児島市(298百台)



▲ 霧島市⇄鹿児島市(204百台)

※使用目的の「その他」は、帰宅・帰社等
資料：H27センサスOD

■ 通勤・通学時の交通手段



資料：国勢調査(H22)

2. 地域ポテンシャル【始良市_交通便利性】

- 中心市街地から桜島SICまで5分、鹿児島市まで30分、鹿児島空港まで20分という優位性を活かし、古くから流通業や食品製造業の工場が立地。
- 近年も東九州自動車道や桜島SIC供用によるアクセス性向上等から、新たな物流拠点が進出。
- 始良都市計画整備方針では、工業・流通業務の立地誘導を目指しており、今後さらなる物流拠点化が進むことが期待される。

【始良市から各交通拠点間の所要時間と主な進出企業】



至 鹿児島空港
 福岡・熊本
 至 大隅地域

① ヤマト運輸鹿児島主管支店
 (鹿児島県内における運送拠点)



② コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
 鹿児島物流センター
 (えびの市で製造された製品が一旦ここに配送される)



③ 南九州酒販株式会社
 加治木物流センター
 (R3.4に新設。製造した焼酎を輸送する拠点として活用)



【始良市の将来像】

- ・ 平松物流用地を中心として、広域的な交通の利便性を活かした機能・施設の立地誘導、整備を目指す。
- ・ 須崎公共用地や加治木JCT周辺において工業・流通業務系施設の立地誘導や、新たな産業拠点の育成を図る。

出典:始良都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

2. 地域ポテンシャル【始良市_人口集中・住みこち】

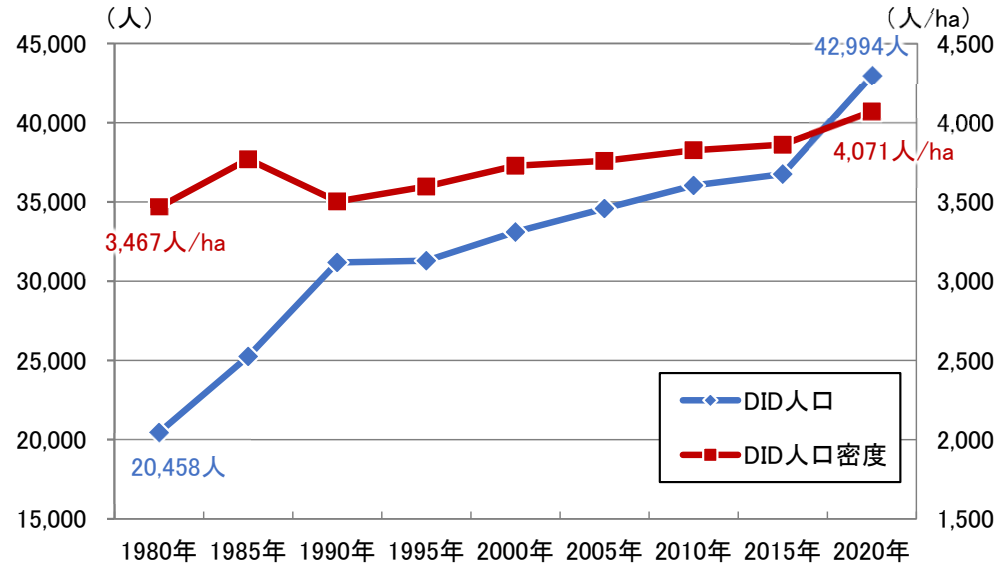
- 始良市では、H28に開業したイオンタウン始良付近等で区画整理や宅地開発に伴ったDID地区の拡大が顕著である。
- DID地区の拡大とともにDID人口も年々増加しており、市内中心部への人口集積が進んでいる。
- 県内の住みこちランキングでも1位にランキングしており、今後も人口増加が期待される。

■ 始良市のDID地区の動向



資料:S55、H12 国土数値情報 R2 地図で見る統計

■ 始良市のDID人口の変化



資料: 始良市統計書

■ 鹿児島県内の住みこちランキング(因子別順位)

順位	昨年順位	自治体名	偏差値	評点	生活利便性	交通利便性	行政サービス	親しみやすさ
1位	1位	始良市	69.8	68.8	1位	1位	1位	2位
2位	2位	鹿児島市	65.0	66.1	2位	2位	2位	1位
3位	4位	霧島市	59.0	62.6	3位	4位	3位	3位
4位	3位	日置市	55.8	60.7	6位	3位	5位	4位
5位	6位	出水市	54.5	60.0	5位	6位	6位	8位
6位	12位	指宿市	51.3	58.2	11位	11位	9位	6位
7位	7位	鹿屋市	50.7	57.8	4位	9位	7位	7位
8位	5位	奄美市	50.6	57.7	9位	12位	15位	5位

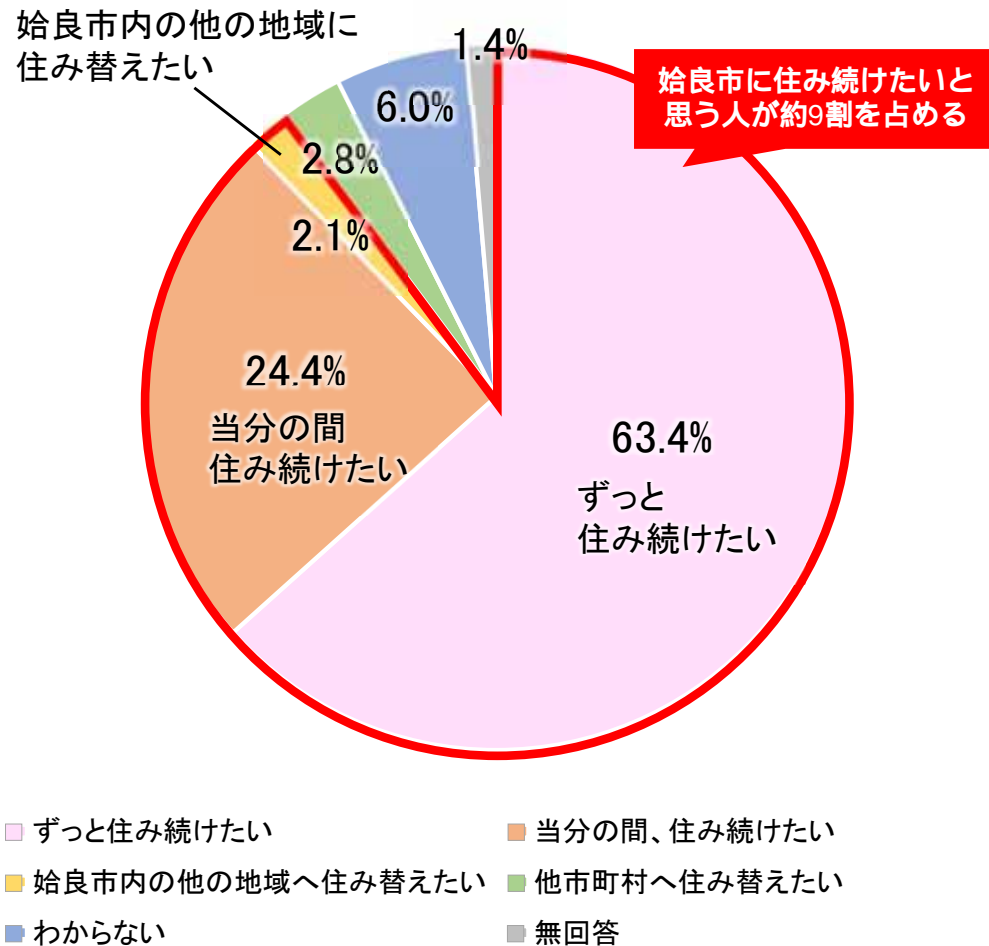
※因子は抜粋表示、その他に「静かさ治安」や「自然観光」等がある

資料: 大東建設(いい部屋ネット 街のすみこちランキング2021<鹿児島県版>)

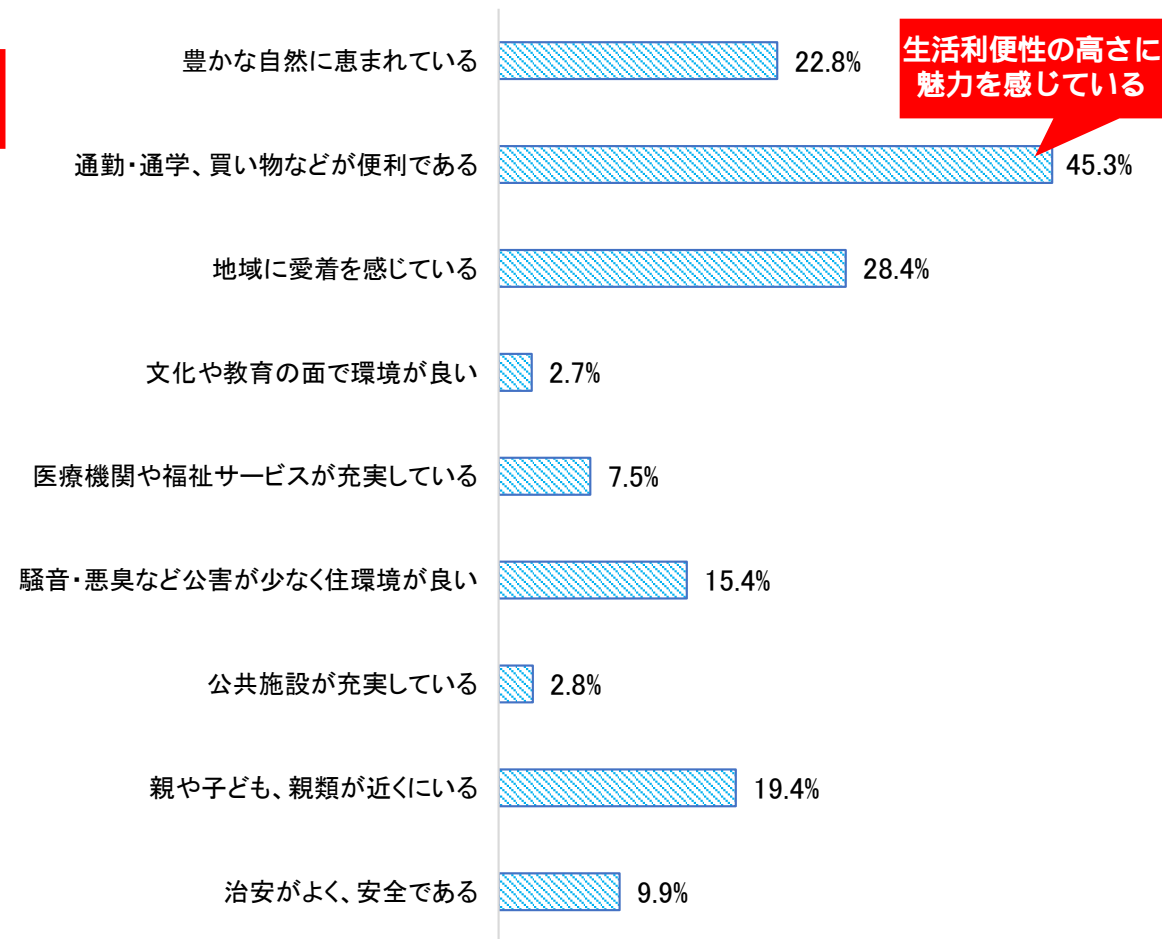
2. 地域ポテンシャル【始良市_住みこち】

- 始良市に住み続けたいと思う人は全体の約9割を占めており、定住意欲の強い人が多い。
- 住み続けたい理由としては、通勤・通学、買物等の利便性の良さに魅力を感じている人が多い。

■ 始良市に住み続けたい人の割合



■ 始良市に住み続けたい理由(地区別)



2. 地域ポテンシャル【霧島市_企業立地】

- 国分隼人テクノポリスの指定を受け、京セラをはじめとする多くの企業が進出。
- 半導体産業の国内回帰を背景に、新たな工業団地整備や工場増設等も予定され、地域活動が活発化している。

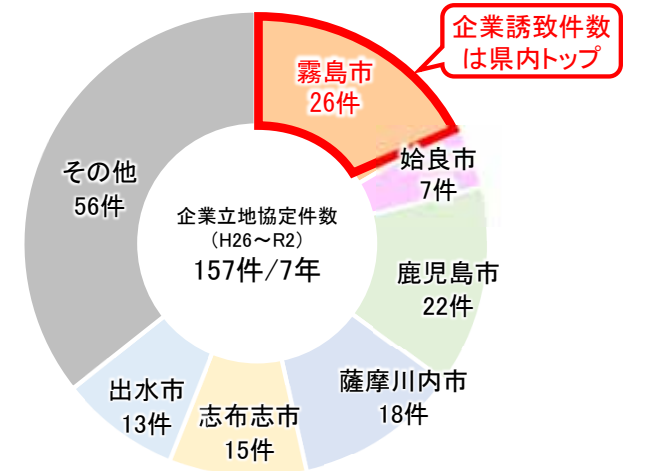
■対象地域周辺の工業団地・主要企業の立地状況



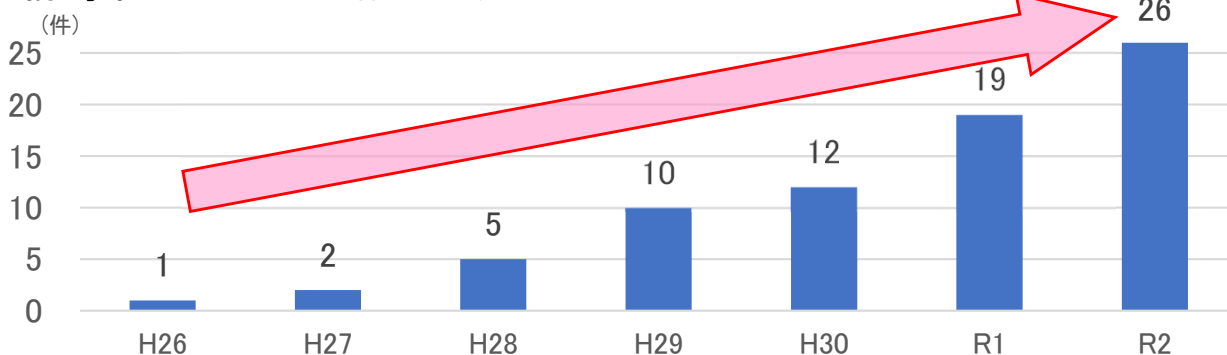
■近年の新工業団地整備・新工場建設計画



■県内の企業立地協定件数(H26～R2累計)



■霧島市の企業立地協定件数(H26～R2累計)

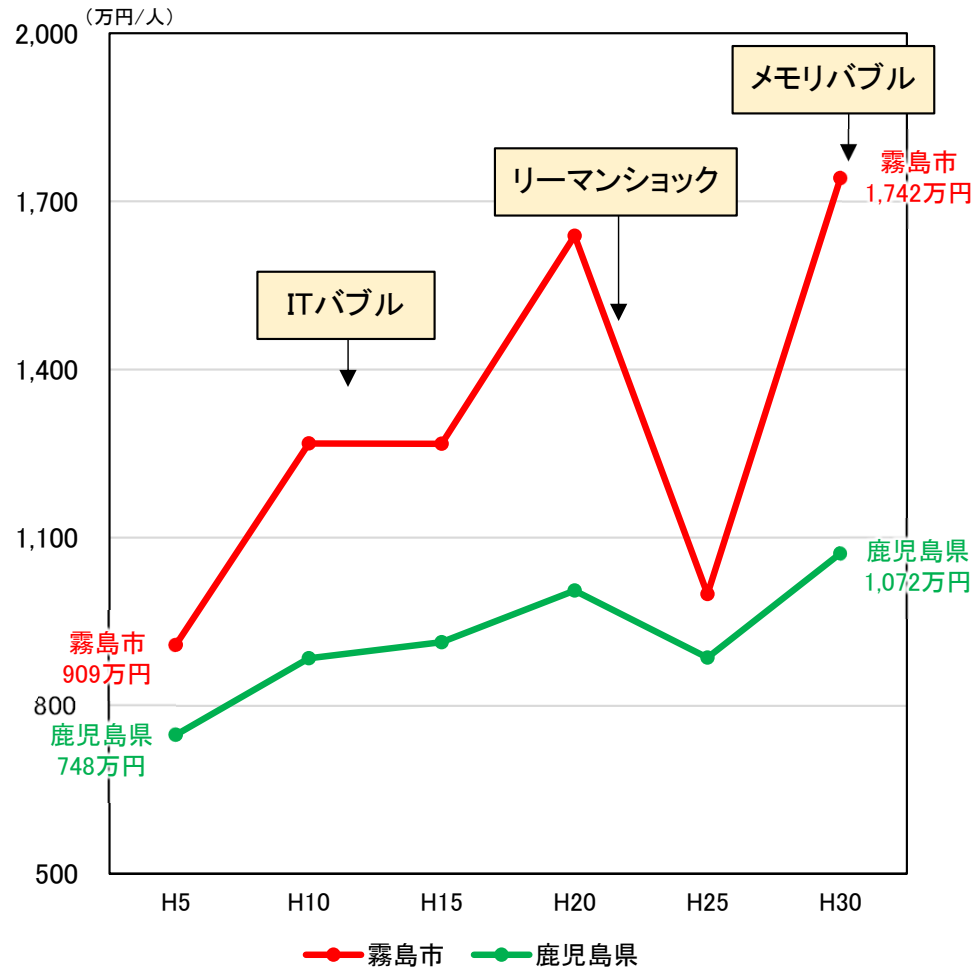


資料：鹿児島県HP (R3.1末時点)

2. 地域ポテンシャル【霧島市_稼ぐ力(製造業)】

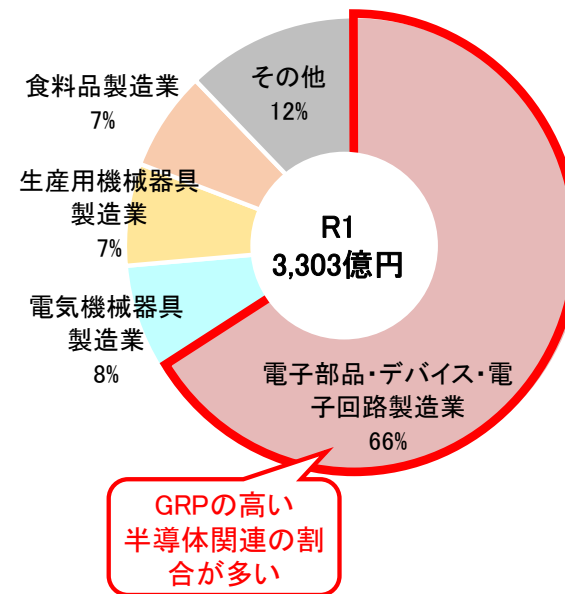
○ 霧島市は付加価値の高い半導体関連事業が盛んであり、GRPも県内平均を大きく上回っている。

■ 製造業 従業者1人当たりのGRP(域内総生産)の推移

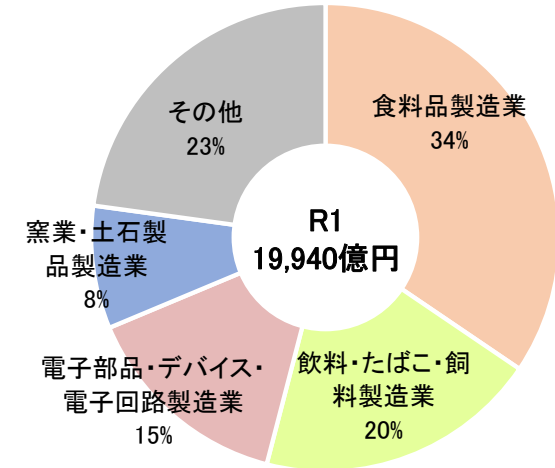


■ 各都市の製造品出荷額の内訳(R1)

■ 霧島市



■ 鹿児島県



GRPの高い半導体関連の割合が多い

資料:工業統計

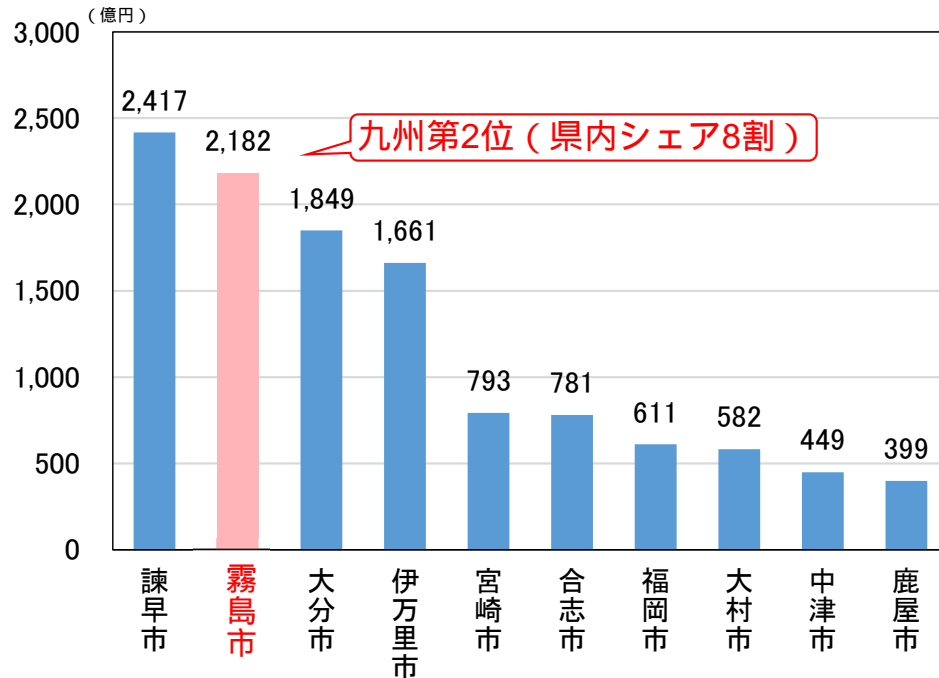
資料:工業統計

2. 地域ポテンシャル【霧島市_稼ぐ力(製造業)】

○ 電子部品・半導体産業の出荷額は九州第2位であり、製造品出荷額が近年増加傾向にある。

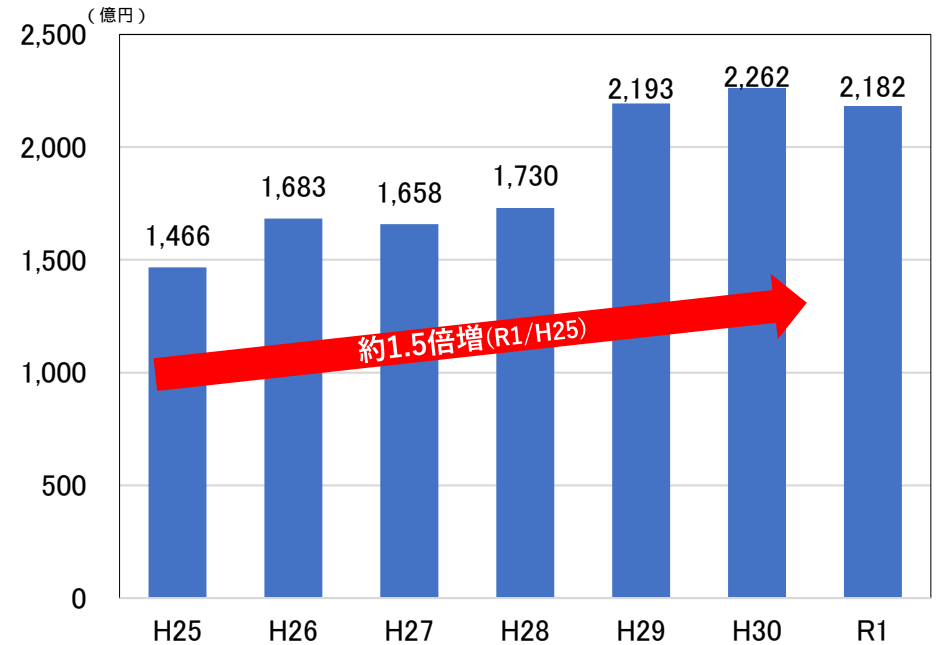
■霧島市の電子部品・デバイス・電子回路製造業

〈R1年度九州の市別製造品出荷額ランキング〉



資料: 工業統計 (2020年確報)

〈製造品出荷額の推移〉



■ 電子部品・デバイス・電子回路製造業

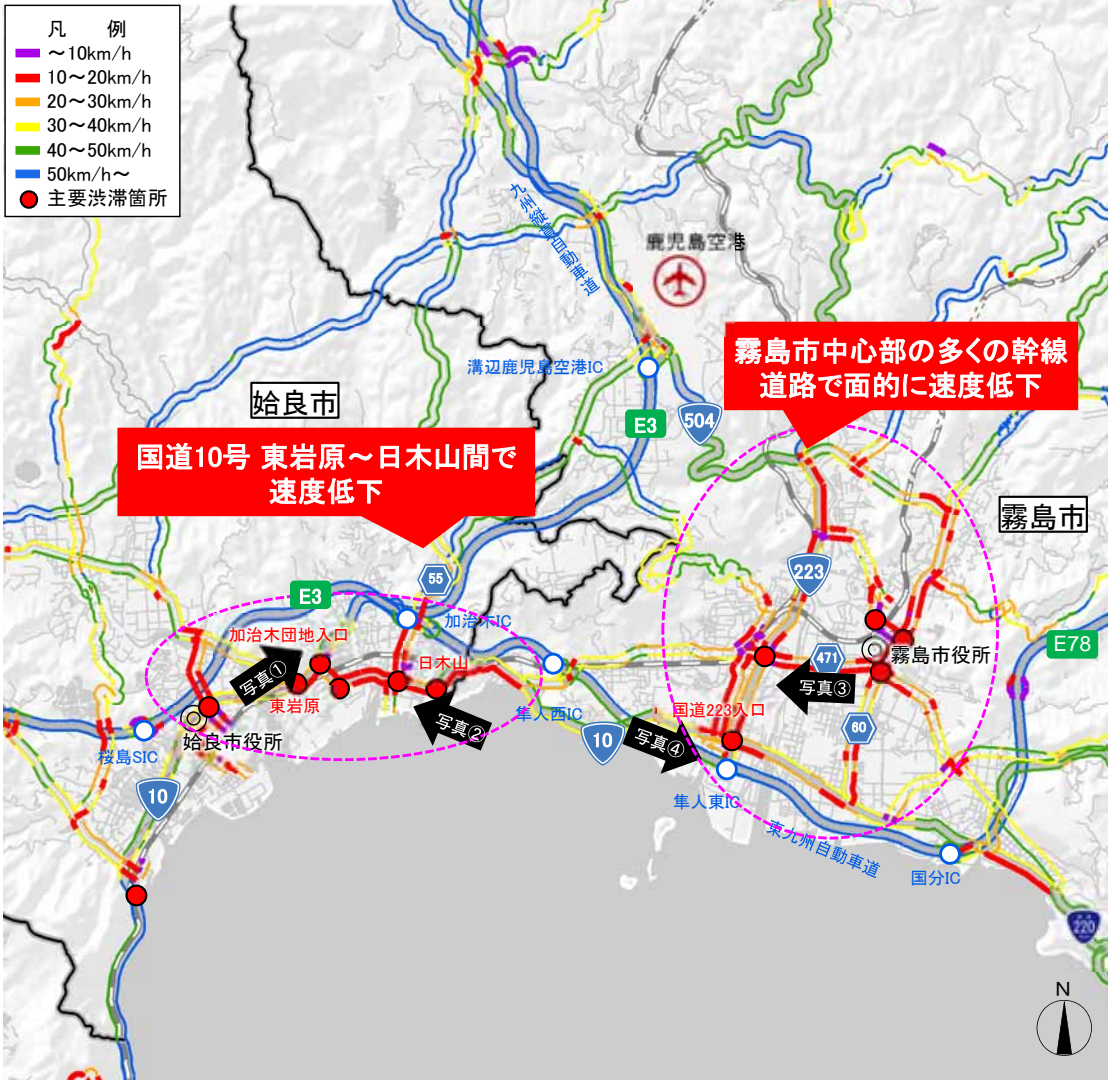
資料: 工業統計 (2020年確報)

3. 霧島・始良地域の課題【渋滞：旅行速度】

- 始良市では、国道10号沿線に商業施設が立地していることから、東岩原～日木山の長い区間で速度低下が発生。
- 霧島市では、大型商業施設等が立地する市内中心部の幹線道路で面的に速度低下が発生。

■対象地域の旅行速度状況

【平日タピーク時(17-19時)】



■対象区間周辺の渋滞状況写真

<始良市>



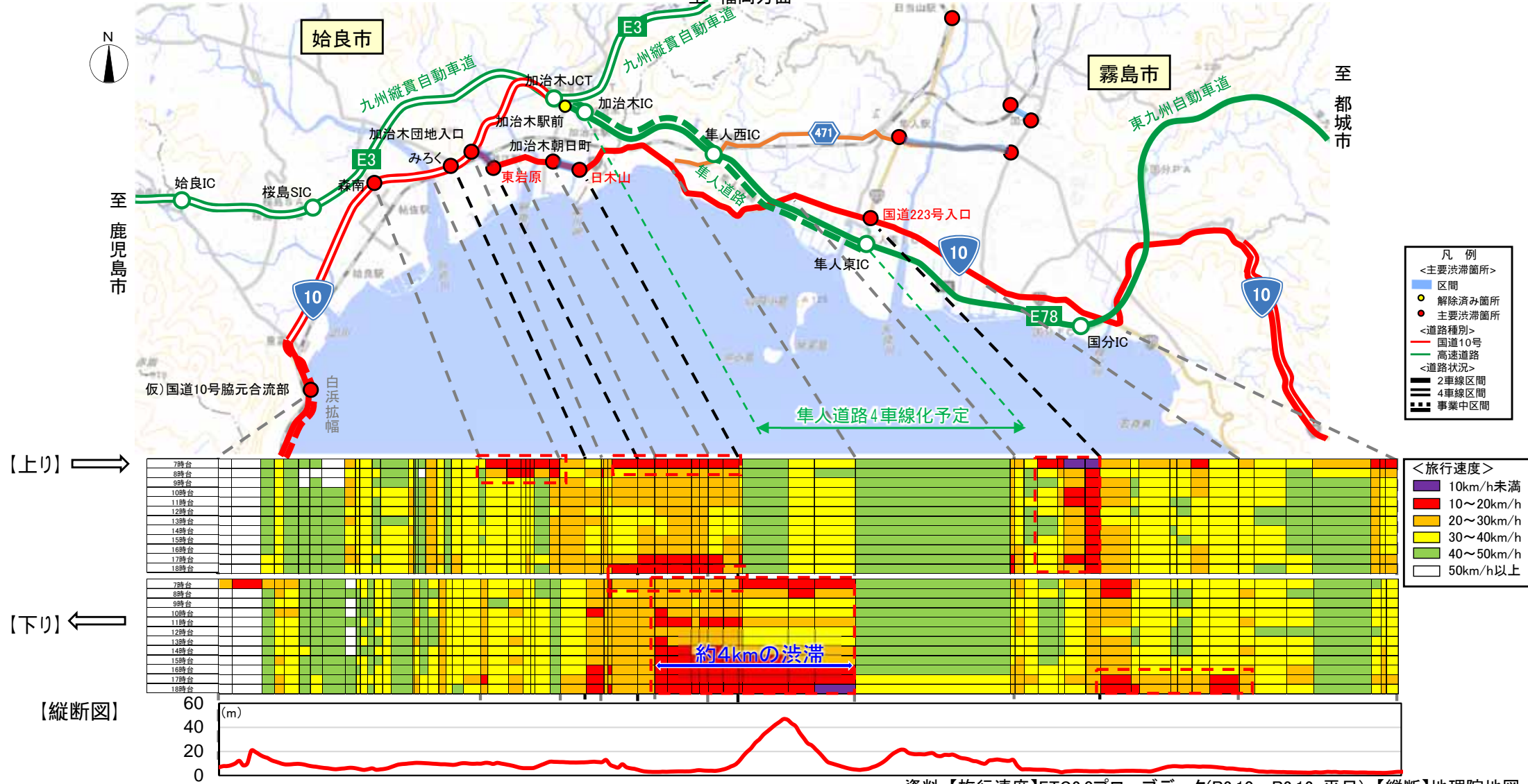
<霧島市>



3. 霧島・始良地域の課題【渋滞:旅行速度(国道10号)】

- 霧島・始良地域の時間帯別旅行速度の分布をみると、始良市では上下線で東岩原-日木山の区間を中心に慢性的な渋滞による速度低下がみられる。
- 霧島市の国道223号入口周辺は渋滞による慢性的な速度低下が見られる。

■ 国道10号の平日時間帯別旅行速度図・縦断図



3. 霧島・始良地域の課題【渋滞：交通量(国道10号)】

- 対象区間の断面交通量(国道10号+並行路線)は、始良市・霧島市都心部間の結びつきが強く、断面①、②で増加傾向。
- 始良・霧島市境付近の交通量は279百台/日であり、九州内2車線道路で3番目に交通量が多い。

■対象区間の交通量の推移



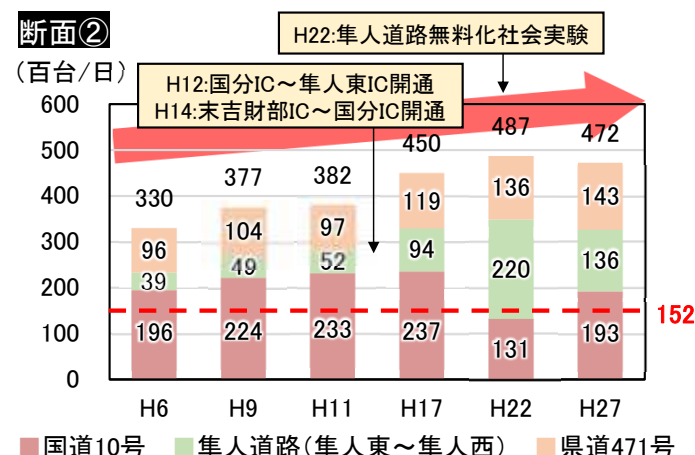
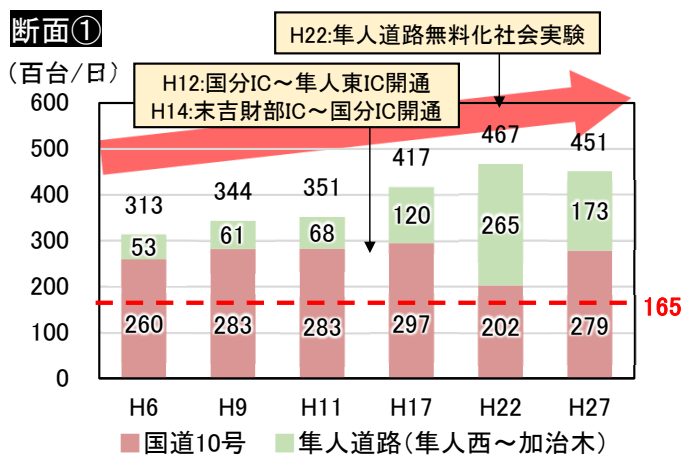
■九州内2車線道路の日交通量TOP5

順位	路線	交通量	混雑度
1	一般国道210号 (福岡県久留米市)	337百台	1.49
2	一般国道3号 (熊本県熊本市)	285百台	1.77
3	一般国道10号 (始良・霧島市境)	279百台	1.72
4	一般国道10号 (宮崎県延岡市)	250百台	1.65
5	一般国道3号 (福岡県八女市)	244百台	1.53

※直轄国道2車線道路(未事業化)を対象。高速除く

資料：H27センサス

■断面交通量



資料：H27センサス

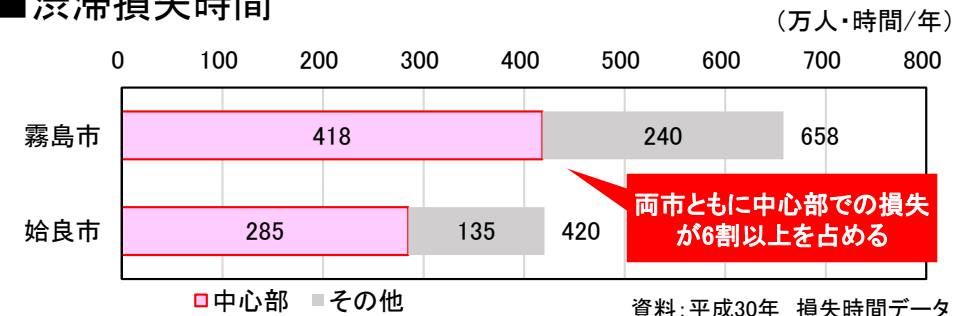
3. 霧島・始良地域の課題【産業・物流】

- 始良市役所付近の国道10号および霧島市役所付近の県道471号、国道223号等で渋滞損失が大きい。
- 霧島市および始良市の渋滞損失時間は年間1,000万人・時間以上で、鹿児島県全体の約2割を占める。
- 国道10号の渋滞により、産業・物流への支障が懸念され、速達性・定時性の向上が課題。

■ 霧島市・始良市周辺の渋滞損失時間



■ 渋滞損失時間



3. 霧島・始良地域の課題【防災(災害リスク)】

- 霧島・始良地域のうち、市境付近と隼人町野久美田付近に危険斜面が存在し、崩壊や地すべり、不安定土砂等の災害リスクがある。
- 国道10号沿線は過去40年間で法面崩壊や土砂流出による通行規制が多発しており、近年でもH27年6月やR1年7月に全面通行止めが発生している等、災害リスクが高い。

■対象区間周辺の被災リスク分布状況



凡例

<カルテ対応箇所>

- 防災点検要対策箇所
- 防災点検カルテ対策箇所

<被災箇所(S55~)>

- × 全面通行規制
- × 片側通行規制

※区間規制は代表箇所

<土砂災害特別警戒区域>

- 急傾斜地
- 土石流

<斜面危険箇所>

- 斜面危険度 I
- 斜面危険度 II・III
- 斜面危険度 IV・V・VI

※危険度ランク I>II>III>IV>V>VI
右下カテゴリ区分図参照

■過去の被災履歴(S55~)

番号	発生年月日	災害種別	規制時間(h)	
			全面	片側
①	S63.5.20	法面崩壊		9.25
②	H5.6.26	法面崩壊		10.0
③	H5.8.1	橋脚流出	4908.7	
④	H5.8.1	護岸流出	150.5	117.0
⑤	H5.8.1	法面崩壊	175.5	
⑥	H5.8.1	法面崩壊		120.0
⑦	H5.8.1	法面崩壊	56.8	120.0
⑧	H5.8.1	法面崩壊	82.0	
⑨	H12.6.8	土石流		19.8
⑩	H18.7.26	法面崩壊の恐れ	70.5	32.8
⑪	H27.6.11	土石流	16.0	0.5
⑫	H27.7.21	土石流		60.3
⑬	R1.7.1	法面崩壊の恐れ	5.5	



写真①市境付近: 始良市から霧島市方面を望む



写真②隼人町野久美田付近

<航空レーザー測量(LP)による危険斜面範囲>

簡易地形判読 斜面危険度の カテゴリ区分	【不安定度】災害リスクの不安定性		
	不安定度:大 対象エリア大 不安定地形が 認められる	不安定度:中 対象エリア中 不安定地形が 認められる	不安定度:小 対象エリア小 やや不安定な地形 が認められる
【影響度】大 災害が発生した場合 道路に達する 可能性が高い	I	III	VI
【影響度】中 災害が発生した場合 道路に達する 可能性がある	II	IV	VIII
【影響度】小 災害が発生した場合 道路に達する 可能性は低い	V	VII	IX
【影響度】なし 災害が発生した場合 でも道路に達する とは考えにくい	X 災害危険箇所該当しない		

出典: 航空レーザー測量(LP)を用いた簡易地形判読によるスクリーニング結果(国土交通省九州地方整備局)

4. とりまとめ

霧島・始良地域を取り巻く状況

- ・人口：合計約20万人(霧島市2位、始良市5位)
- ・人口の推移：県内1・2位の人口増加率
地域内でも中心部は人口増加し、
郊外部では人口減少が顕著
- ・地域ポテンシャル：
 - 霧島市：県内随一の工業都市で、九州第二位の半導体関連製造品出荷額を誇る。
新たな工業団地整備や工場増設等も
予定され、地域産業が活発化している。
 - 始良市：高速交通のクロスポイントであり、交通
利便性の高さから流通産業が集積。
積極的な住宅施策と生活利便性の高さ
から人口集積も進んでいる。

霧島・始良地域の交通状況

- ・高速ネットワーク：
鹿児島県の中央部に位置し、国内外の
玄関口である鹿児島空港と県内外を結
ぶ九州縦貫道、東九州道等の高速ネット
ワークが結節する交通の要衝である。
- ・交通特性：霧島市・始良市間および鹿児島市
との交通流動が多く、通勤・通学時
における自動車依存度が高い。
- ・交通量：国道10号始良市～霧島市区間は
九州内2車線道路で3番目に多い。

霧島・始良地域の交通課題

①渋滞

- ・国道10号沿線に商業施設等が立地し、慢性的
な速度低下が発生。
- ・霧島市内においては、周辺ネットワークも含め、
面的に速度低下が発生。
- ・始良市・霧島市都心部間の交通量は増加傾向
であり、渋滞解消に向けた対策検討が必要。

②産業・物流

- ・国道10号の渋滞により、通勤・産業活動への支
障が懸念される。
- ・速達性・定時性の向上が課題。

③災害

- ・霧島・始良地域の国道10号沿線は危険斜面
が存在しており、崩壊や地すべり、不安定土
砂等の災害リスクがある。
- ・大雨などにより、過去通行規制を行った実績
があり、災害に強いネットワーク作りが課題。



現在の将来計画（マスタープラン）

霧島市

有機的に集約・連携する多機能都市

- ・交通ネットワークが充実した都市づくり

始良市

活力を育み、発展する都市

- ・各交流拠点を結ぶネットワークの強化

人と自然が輝きにぎわう都市

- ・安全で安心して生活できる災害に強い都市づくり

誰もが安全、快適に暮らせる都市

- ・地震等の災害に強い都市環境の整備

※マスタープランは関連項目を抜粋